令和元年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	34	事業No.	212		
会計	一般会計				
事務事業名	人材育成事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	工業課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる
	分野別計画		地域経済活性化プログラム	
			飯田市版総合戦略	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	製造業等を支える人材
	意図	地域の産業振興に向けた技術力の向上、人材の確保

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	地域産業の高度化・高付加価値化を図るためには技術力の向上と専門的な人材の育成が不可欠です。そのためには製造業を支えている企業の規模拡大や技術継承、中小企業の人材確保について取り組むことが必要です。信州大学航空機システム共同研究講座については、専門的かつ高度な人材を育成、輩出するための支援が必要です。 また、次世代を担う子どもたちに対し、地域産業や地元企業の認知度の向上やものづくりのよろこびや楽しさを醸成する取組が必要です。

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	産業の高度化・高付加価値化を支える専門的な人材を育成するため、飯田産業技術大学や信州大学大学院飯田コース・「特別の課程」スキルアップ１年コースなど、中小企業の社会人を対象にした高度な知識の修得や働きながら学ぶ環境づくりに取り組みます。あらたに食品系の品質管理・研究・分析評価に関する講座を実施するとともに、信州大学航空機システム共同研究講座では、コンソーシアムを組織して、引き続き地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用しながら学生支援を実施します。 そのほか、スーパーサイエンス事業（ＪＡＸＡ連携事業）や子ども科学工作教室等、次世代を対象にした事業を開催することにより、地域産業や地元企業の認知度の向上やものづくりの楽しさを知ってもらい、次世代を担う人材育成の取組みを実施します。	スーパーサイエンス、こども科学教室、ＪＡＸＡ連携事業、信大航空機システム負担金等	10,126
		飯田産業技術大学事業	2,900
		信州大学院飯田コース事業	3,000
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 実績	平成30年度 計画	令和元年度 計画	令和2年度
	次世代育成を目的とした講座参加者数	人	253	300	300	
	信大「特別の課程」１年コース修了者数	人	11	8	8	
	飯田産業技術大学参加者数	人	1,007	1,000	1,000	
	航空機システム共同研究講座学生数	人	2		7	

1年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	16,026	（そ）工業課雑入　30千円 （そ）工業振興寄付金　4,050千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	4,080	
	一般財源	11,946	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	10	16	10,126 / 0	次世代を担う産業人材育成事業費
2	1	7	1	5	10	18	2,900 / 0	飯田産業技術大学事業費
3	1	7	1	5	10	28	3,000 / 0	ものづくり高度人材育成事業費
4								
5								
6								
7								